

ダンボール箱を使って生ごみを堆肥化しよう ダンボール堆肥を使った野菜作り

自然の中で起こる循環をダンボール箱の中で確認し、単に捨てるのではなく生ごみを資源として有効利用できることを体験してもらいます。
できあがった堆肥は野菜を育てるための土作りに使います。

対象(学年)：小学校4年生
(その他の学年は要相談)
実施場所：教室、図工室等
(野菜作りは中庭等)
所要時間：ダンボール堆肥の作り方 90分
野菜作り 45分

ねらい 現在一般ごみとして排出される「生ごみ」を微生物の働きによって分解し、堆肥化することで焼却ごみの減量につながることを期待します。

準備物 じょうろ、新聞紙、生ごみ(野菜くず)、ガムテープ(布製)、スコップ、花のポットトレイ、マーカー(マジック)
(※野菜作りはプランター)



内容

時間	内容	備考(解説)
堆肥作り		
2分	自己紹介(挨拶)	
5分	自然の仕組み(概要)説明	黒板を使用
38分	ダンボール箱の作成(微生物のお家)	箱のサンプルを使用
30分	堆肥作り(かき混ぜる等の作業)	堆肥のサンプルを使用
10分	管理方法の説明	パネルを使用
5分	まとめ	
野菜作り		
2分	自己紹介(挨拶)	
30分	土と堆肥を混ぜ合わせて植え付けを行う	
13分	まとめ(管理方法の説明)	

講師 枚方市 環境部 減量業務室 減量推進担当班 職員

活動実績 平成28年度は、「ダンボール堆肥作り」の出前授業を市内、21小学校にて実施
「堆肥を使った野菜の栽培」も19小学校にて実施

連絡先 枚方市環境部減量業務室

TEL：849-5374 FAX：848-1821

